

令和5年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～		
	施策	07 スポーツ ースポーツを通して市民が元気にいきいきと暮らすことのできるまちを目指しますー		
重点プロジェクト		元気・健康づくりプロジェクト		
主管課	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課	評価責任者	本橋 直人	
		評価日	令和6年6月1日	
関連課	障がい福祉課、高齢福祉課、保健センター、公園緑地課、学校教育課			
目標	全ての市民が生涯を通して、気軽にスポーツに親しみ健康づくりに取り組むことができる機会の充実や環境整備を進めるとともに、スポーツを通じた地域の交流、コミュニティづくりを推進します。			
施策目標の実現に向けた取組	<p>(1) 子どものスポーツ機会の充実 ○乳幼児期からの発達段階に応じて子どもがスポーツに親しむことができる機会の充実を図ります。</p> <p>(2) 生涯にわたり誰もがスポーツに親しめる機会の充実 ○障がいのある人や、高齢者をはじめとする全ての市民へのスポーツ機会の充実と環境づくりを進めます。</p> <p>(3) 地域スポーツにおける人材の育成 ○ジュニア・アスリートの発掘・育成を進めるとともに、指導者、ボランティアの育成、技術力向上を図ります。</p> <p>(4) 安全なスポーツ環境の整備促進 ○スポーツ活動やスポーツ指導における安全性を確保するため、指導者の技術及び指導力の向上を図ります。 ○既存施設の有効活用、利便性の向上などスポーツ環境の整備を図ります。</p>			

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策 目 標	指標 1	指標名	週1回以上スポーツをする19歳以上の市民の割合					
		説明	19歳以上の市民の方がスポーツを通して健康づくり、体力づくりを促進するため、数値指標とする。					
		単位	%					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	-	44.60	47.30	50.00	52.70	55.40
		実績値	45.20	30.90	85.04	86.00	88.20	85.46
	指標 2	指標名	障がい者のスポーツ事業への参加者数					
		説明	障がい者がスポーツに親しめる機会を創出する目的で指標とする。 令和5年度はふれあい広場でスポーツ体験を実施しなかったため参加者数が大幅に減少した。					
		単位	人					
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	160	190	220	250	280	300
		実績値	162	95	0	0	206	23
	指標 3	指標名	スポーツ施設利用者の満足度					
		説明	市民ニーズを把握するとともに、市民サービスの向上を図る目的で指標とする。					
		単位	%					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	64.00	67.50	71.00	74.50	78.00	80.00
		実績値	55.40	50.10	50.50	46.60	52.60	53.26
	指標 4	指標名	自治組織ラジオ体操実施団体数					
説明		気軽に運動に親しみ健康づくりに取り組む機会を増やすことを目的に、令和5年度は自治組織15団体の実施となり、最多の参加団体数となった。						
単位		団体						
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値	0	0	13	15	17	19	
	実績値	8	11	8	10	12	15	
指標 5	指標名	ロードレース大会参加申込者数						
	説明	目標値:申込員数に対し、100%の参加申込者数とする。 実績値:令和5年度はレース変更を行ったため、申込員数は1,370人となった。						
	単位	人						
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値	1,960	1,960	1,960	1,960	1,960	1,370	
	実績値	1,912	1,897	0	0	1,236	1,281	

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	609,369	79,536	57,701	126,161	76,210	77,179
	人件費	26,718	37,355	40,272	35,423	29,169	31,337
収入	特定財源	559,149	17,709	1,430	54,666	3,212	12,085
	一般財源	76,938	99,182	96,543	106,918	102,167	96,431

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	ロードレース大会	令和4年度からメイン会場をふじみ野市第2運動公園周辺に変更し、令和5年度には小学生の部と親子の部のレース編成を行った。	市民の日頃の練習成果を発揮する機会を設け、スポーツ意識の向上に寄与した。令和5年度は、元世界陸上日本代表の千葉真子氏、競歩でオリンピック3大会出場の山崎勇喜氏、コモディイイダ駅伝部の選手等をゲストに迎え、トップランナーと触れ合う機会を創出した。	スポーツ大会事業
取組②	安全なスポーツ環境の整備促進	指定管理者制度により、スポーツセンターをはじめとするスポーツ施設の管理運営を行っている。令和5年度においても毎月1回モニタリングを行うとともに随時、現地確認し、改善を行った。	指定管理者と月1回モニタリングを行うとともに随時現地確認し、安全なスポーツ環境の整備につなげることができた。令和6年度からの駒林体育館の改修工事に合わせ、各施設に空調設備を導入することとし、駒林体育館及び上野台体育館の工事設計を実施した。	スポーツ推進事業 スポーツ施設管理運営事業
取組③	ラジオ体操事業	健康的な生活習慣を推進するため、ラジオ体操の普及に努め、「イオンdeラジオ体操」を既に実施していたイオン大井店に加え、イオンタウンふじみ野において初めて開催した。また、自治組織向けにラジオ体操開催の支援を行った。	イオンdeラジオ体操は、イオン大井店で1,170人が参加し、イオンタウンふじみ野は、531人が参加した。ラジオ体操を実施した自治組織数は15団体で、5,507人が参加し、健康増進につなげるとともに、人と触れ合うことで、元気なまちづくりの一助となった。	スポーツ推進事業
取組④	スポーツ推進委員地域派遣事業	市内小中学校や自治組織、公民館事業、指定管理者事業等にスポーツ推進委員を派遣し、誰もが楽しめる軽スポーツ（ポッチャ等）の普及を進めた。また、自治組織で開催されるグランドゴルフ大会の支援やラジオ体操の指導等にスポーツ推進委員を派遣した。	地域への派遣回数は41回と前年度の2倍近く増え、そのうちポッチャに関する派遣回数は14回であり、誰もが楽しめる軽スポーツの普及に努めた。また、自治組織が実施するラジオ体操へ9回派遣し、ラジオ体操の普及を行った。	スポーツ推進事業
取組⑤	地域連携事業	スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブふじみ野ふあいぶるクラブ、指定管理者と連携し、各種事業を展開した。また新たに、インクルーシブスポーツの普及として、「まぜこぜ運動会」及び「まぜこぜ運動クラブ」を開催した。	スポーツイベントは計36回、開催することができ、市民が気軽にスポーツに親しみ健康づくりに取り組むことができる機会となった。また、6月に「まぜこぜ運動会」、7月から毎月第三土曜日に「まぜこぜ運動クラブ」を新たな事業として開催することができた。	スポーツ推進事業

5. 評価

評価	
指標の達成状況	令和5年度は、新規のスポーツ事業を実施するとともに、スポーツ推進委員の派遣事業も増加したことにより、多種多様なスポーツの事業を展開することができた。
おおむね順調	また、プロチームであるさいたまブロンコスと包括連携協定を結び、トップアスリートと触れ合うことのできる事業を実施し、子どもの夢を育むことや市民のスポーツを行う意識の向上に寄与する機会を創出した。
行政資源の活用	さらに、インクルーシブスポーツの推進として、新たにまぜこぜ運動会・まぜこぜ運動クラブを実施し、障がいの有無、国籍等問わず誰もが運動遊びを楽しむことができる事業を展開した。
おおむね適切	スポーツ活動地域支援事業では、体験したい種目について、中学生向けにアンケート調査を実施し、小学校5、6年生、中学生を対象に部活動種目のバスケットボール、剣道、卓球、また部活動種目以外のアーチェリー、硬式テニス、弓道、バドミントン等の体験ができる機会を創出した。令和6年度は、部活動を支援するスキルアップ型で市内6中学校を拠点校とし、それぞれの拠点校に野球、サッカー、バスケットボール、剣道、陸上等、一種目ずつ割り当て、実施する。
取組の有効性	
おおむね有効	
施策の効果	
効果が得られている	

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	スポーツ推進事業		前年度の方向性	拡充
重点プロジェクト	元気・健康づくりプロジェクト			
施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～		
	施策	07 スポーツ ースポーツを通して市民が元気にいきいきと暮らすことのできるまちを目指しますー		
予算費目	一般会計 02総務費 01総務管理費 13文化・スポーツ振興費			
所管部課	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課		評価責任者	吉村 敏世
事務事業期間	平成17年度～		評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等	スポーツ基本法、文化・スポーツ振興条例、ふじみ野市スポーツ推進計画			
事務事業の内容	事務事業の目的	日常生活に運動を取り入れる習慣をつくり、健康で生き活きとした生活が送れるよう市民の年齢、適正、健康状態等に応じたスポーツ教室や大会を開催し、スポーツを通して市民が元気にいきいきと暮らすことのできるまちづくりを目的とする。		
	事務事業の経緯	スポーツ基本法第4条の規定（地方公共団体の義務（自主的かつ主体的に、その地域の特性に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する。））及び将来構想「元気・健康プロジェクト」並びにふじみ野市スポーツ推進計画に基づき、各種事業を実施している。令和元年度から、既存の「スポーツ推進事業」に「スポーツ団体支援事業」「入間地区社会体育推進事業」「ラジオ体操普及事業」を統合した。		
	事務事業の概要	多様な市民が生涯にわたってスポーツに親しむことができる地域づくりを推進し、スポーツを通じた地域の活性化を図ることを目的として、幼児から高齢者、障がいのある方まで各世代が参加できる多様なスポーツ教室を指定管理者、スポーツ協会及びスポーツ推進委員と連携し、開催している。さらに、自治組織と連携して、地域でラジオ体操を行うことで、身近な場所での運動機会を提供している。競技スポーツの育成環境や支援体制の更なる充実を図り、スポーツに対する興味関心を高めるため、スポーツ団体の育成を行う母体への支援を行う。さらに、スポーツで活躍している市民に対し、交通費及び宿泊費の一部を補助し、トップアスリートやジュニアアスリートの輩出を目指している。		
	令和5年度の主な取組	①元気・健康フェア：NECレッドロケッツ所属の選手らによる小学生向けのバレーボール体験教室を開催すると共に、障がいの有無等に関わらず誰もが取り組めるポッチャ等のスポーツ体験広場を開催した。 ②まぜこぜ運動会・クラブ：パラスポーツコーチの工藤氏をメインコーチ、市内在住のパラリンピック出場者等を講師に迎え、6歳から18歳を対象に障がいの有無、国籍を問わず、月一回、楽しく体を動かせる機会を提供した。 ③スポーツ活動地域支援事業：小学校の高学年、中学生を対象にスポーツ協会等からコーチを迎え、部活動種目、部活動以外の種目の体験型事業を週末に実施した。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.70	1.80	2.00
		人件費	13,541	14,262	15,846
	再任用職員	従事人数(人)	0.10	0.10	0.00
		人件費	528	519	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
	人件費計	14,069	14,781	15,846	
事業費	報酬※	216	71	198	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	197	385	963	
	委託料	2,178	1,900	1,962	
	使用料及び賃借料	232	133	188	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	9,034	8,759	8,524	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費※	1,612	1,804	2,510	
	支出合計	27,538	27,833	30,191	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	2	12
	一般財源	27,538	27,831	30,179	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		241	244	257	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	自治組織ラジオ体操実施団体数		
	説明	目標値：前年度実績より2団体増（東西各1団体増） 令和5年度は、ソラガーデン自治会、大原自治会が新たに実施団体となった。 参加者数も4,151人から5,507人に増加。		
活動	単位	団体		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	12	14	17
	実績値	12	15	
指標 2	指標名	障がい者のスポーツ事業への参加者数		
	説明	目標値：令和5年度の目標（300人）を達成するために、段階的に参加者を増やす。（将来構想策定時に設定） 対象事業：元気・健康フェア、スポーツ推進委員派遣事業、ロードレース大会等 ※令和5年度はふれあい広場でスポーツ体験を実施しなかったため参加者数が大幅に減少した。		
活動	単位	人		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	280	300	300
	実績値	206	23	
指標 3	指標名	週1回以上スポーツをする19歳以上の市民の割合		
	説明	目標値：令和5年度の目標（55.4%）を達成するために、段階的に割合を高める。（スポーツ推進計画策定時に設定） 実績値：指定管理者による有料スポーツ施設の利用者へ無作為に実施した利用者満足度調査に基づく。 （令和6年度以降見直し予定）		
成果	単位	%		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	52.70	55.40	0.00
	実績値	88.20	85.46	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>1 元気・健康フェア (1) 6月4日 (2) 参加人数：190人</p> <p>2 スポーツ推進委員地域派遣事業 (1) 派遣回数：42回 (2) 派遣内容：ポッチャ、グラウンド・ゴルフ等</p> <p>3 イオンdeラジオ体操（イオンタウンふじみ野で実施は2年目） (1) イオン大井店 実施：7日間（7月25日～7月31日） 参加人数：延べ1,170人 (2) イオンタウンふじみ野店 実施：7日間（8月1日～8月7日） 参加人数：延べ531人</p> <p>4 自治組織向けラジオ体操の支援 (1) 実施自治組織数：15団体 (2) 参加人数：延べ5,507人</p> <p>5 ふじみ野発見・発信スポカル広場 (1) 実施：2回（5月21日 9月10日） (2) 実施内容 新体操の体験、太極拳、長拳隊、ダンス、コーラス等の市民団体による発表等。</p> <p>6 第55回入間東部地区駅伝競走大会 (1) 実施：2月4日 (2) 参加チーム数95チーム（応募101チーム）</p> <p>7 トップチーム・トップアスリート等を招いた事業 実施者：NECレッドロケッツ（バレー）、さいたまブロンコス（バスケット）、埼玉西武ライオンズ（野球）、千葉真子氏（陸上競技）、山崎勇喜氏（陸上競技）、コモディイイダ駅伝部</p> <p>8 まげこげ運動会・運動クラブ (1) 実施：6月24日キックオフイベント 7月以降、毎月第3週土曜日開催 (2) 参加人数：6月24日（土）キックオフイベント：54人 毎月第三土曜日（まげこげ運動クラブ定期事業）：参加延べ約129人</p> <p>9 スポーツ活動地域支援事業 (1) 実施：1月27日参加16人、3月23日参加15人、3月30日参加24人</p>
------------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
拡充	「第2期ふじみ野市スポーツ推進計画」が令和5年度よりスタートし、将来像である「スポーツに出会い 楽しみ つながるまち ふじみ野」の実現に向けた取組みをさらに推進していく。 令和5年度は、元気・健康フェア、ラジオ体操、まげこげ運動会・クラブ（新規事業）、シニア元気塾、ノルディックウォーク等、数多くの事業を実施し、誰もが様々なスポーツを楽しむことができる事業を展開した。
中長期的方向性	スポーツ活動地域支援事業では、体験したい種目について、中学生向けにアンケート調査を実施し、小学校5,6年生、中学生を対象に部活動種目のバスケットボール、剣道、卓球、また部活動種目以外のアーチェリー、硬式テニス、弓道、バドミントン等の体験ができる機会を創出した。令和6年度は、部活動を支援するスキルアップ型で市内6中学校を拠点校とし、それぞれの拠点校に野球、サッカー、バスケットボール、剣道、陸上等、一種目ずつ割り当て、月一回実施する。
拡充	

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	スポーツ大会事業		前年度の方向性	拡充
重点プロジェクト	元気・健康づくりプロジェクト			
施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～		
	施策	07 スポーツ ースポーツを通して市民が元気にいきいきと暮らすことのできるまちを目指しますー		
予算費目	一般会計 02総務費 01総務管理費 13文化・スポーツ振興費			
所管部課	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課	評価責任者	吉村 敏世	
事務事業期間	昭和43年度～	評価日	令和6年6月1日	
個別計画 根拠法令・条例等	スポーツ基本法、文化・スポーツ振興条例、ふじみ野市スポーツ推進計画			
事務事業の内容	事務事業の目的	幅広い年代、市内各地域が参加できる競技スポーツイベントとコミュニティ・スポーツイベントを開催することで、市民にスポーツ活動の楽しさと健康増進、体力の向上、コミュニティの推進を図る。また、競技スポーツ人口の増加を目指しながら、スポーツを通じて青少年から高齢者までの生きがいづくりの一助を担う。		
	事務事業の経緯	令和元年度から、「新春ロードレース大会事業」「市民スポーツフェスティバル事業」「市民スポーツ大会事業」を統合し、「スポーツ大会事業」となり、継続して当該事業を行う。		
	事務事業の概要	「ロードレース大会」は、老若男女問わず参加することができ、申込者数1,200人を超える市内最大のスポーツ大会である。平成26年度から市主催から実行委員方式へ移行して実施している。 「市民スポーツフェスティバル」は、毎年10月から11月に、自治組織連合会を中心とした東地域と西地域の実行委員会に事業委託をし、地域スポーツの祭典として、開催している。 「市民スポーツ大会」は、毎年8月から翌年3月までの間に、ふじみ野市スポーツ協会主催で、さまざまな競技スポーツを市民が自ら運営する大会である。		
	令和5年度の主な取組	①ロードレース大会では、レースの編成を見直し、交通規制時間の短縮を図った。また、物価高騰等の影響を受け、参加料を一部の種目で500円の値上げを実施した。 ②コロナ禍で中止していた、市民スポーツフェスティバルを4年ぶりに東地域、西地域でそれぞれ開催し、子どもから高齢者まで誰もが楽しむことができる、笑顔あふれる運動会を実施した。 ③市民スポーツ大会では、従来の20競技の開催に加え、年齢・性別、障がいの有無を問わず、誰もが参加しやすい種目としてポッチャ部門を新設し、障がいの有無を問わず、子どもから大人まで笑顔あふれる事業を実施した。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.50	0.60	0.90
		人件費	3,983	4,754	7,131
	再任用職員	従事人数(人)	0.10	0.10	0.00
		人件費	528	519	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		4,511	5,273	7,131	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	1,958	5,517	14,710	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費※	190	382	548	
支出合計		6,659	11,172	22,389	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	12,210
		その他	0	0	0
一般財源		6,659	11,172	10,179	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		58	98	87	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	ロードレース大会参加申込者数		
	説明	目標値：申込定員数に対し100%の人数		
活動	単位	人		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	1,960	1,690	1,370
	実績値	1,236	1,281	
指標 2	指標名	市民スポーツフェスティバル参加者人数		
	説明	目標値：前年度実績10%増（令和5年度目標値は平成30年度実績から算出）		
活動	単位	人		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	4,980	4,980	4,980
	実績値	0	2,229	
指標 3	指標名	市民スポーツ大会の参加者数		
	説明	目標値：前年度実績1%増（令和元年度実績から算定） 実績値：令和5年度は、22競技実施した。		
成果	単位	人		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	4,209	4,520	4,520
	実績値	4,476	4,210	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>①ロードレース大会 小学生の部、親子の部のレース編成を見直すことにより、交通規制時間を短縮した。また、令和4年度に引き続き、一般の部の女性部門を年齢別で二つに分け表彰を行った。物価高騰への対応及び各部門の参加費に占める参加賞代の割合の適正化、他市町村のマラソン大会の参加費との均衡を図る観点から、参加費を5kmと親子の部は500円ずつの値上げを実施した。令和5年度のゲストランナーに、元世界陸上日本代表の千葉真子氏、コメディイダ駅伝部元監督小林剛志氏、同部所属のアレックス・キプチルチル選手、ウィリー・キプセレム選手、また、競歩でオリンピック3大会出場の山崎勇喜氏を迎え、1,152人の参加者とトップランナーと一緒に走る等、大会を盛り上げ、子どもから大人まで笑顔あふれる大会を開催した。</p> <p>②市民スポーツ大会（ポッチャ部門の新設） 初めての市民スポーツ大会ポッチャの部を開催し、高齢者から子ども、障がいのある方まで18人が参加する事業を展開した。また、大会の運営、審判等をスポーツ推進委員が行い、滞りなく実施することができた。</p> <p>【競技数】22 【参加者数】4,210人</p> <p>③市民スポーツフェスティバル 東地域、西地域それぞれの自治組織から構成される実行委員会により、4年ぶりにスポーツフェスティバルを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東地域スポーツフェスティバルは、上野台小学校で10月8日（日）に開催し、21の自治組織が集い、笑顔あふれる中で、コミュニティを深める機会となった。 ・西地域は、小学校区ごとにスポーツフェスティバルが実施され、7月9日（日）東原・東台小学校区、9月16日（土）西原小学校区、10月21日（土）大井小学校区、10月22日（日）鶴ヶ丘小学校区、亀久保小学校区、10月29日（日）に三角小学校区で開催し、子どもから大人まで楽しく、コミュニティを深める機会になった。 <p>【参加人数】東地域スポーツフェスティバル：845人 西地域スポーツフェスティバル：1,384人</p>
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
拡充	令和5年度に実施した、ロードレース大会、市民スポーツ大会のポッチャ部門等、さらに楽しむことができる事業とするため、令和6年度もさらなる改善を図りながら、継続して実施する。 市民スポーツフェスティバルについては、これまで東地域、西地域でそれぞれ開催していたが、夏季オリンピック開催年に併せて4年に一度、「オールふじみ野スポーツフェスティバル」として、東西合同で実施し、東西の一体感を高めるとともに、地域のコミュニケーションの活性化を図る。
中長期的方向性	令和6年度はパリオリンピックが開催されるため、令和6年10月13日（日）に「オールふじみ野スポーツフェスティバル」を開催する予定である。
拡充	

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	スポーツ施設管理運営事業		前年度の方向性	拡充
重点プロジェクト	元気・健康づくりプロジェクト			
施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～		
	施策	07 スポーツ ースポーツを通して市民が元気にいきいきと暮らすことのできるまちを目指しますー		
予算費目	一般会計 02総務費 01総務管理費 13文化・スポーツ振興費			
所管部課	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課	評価責任者	吉村 敏世	
事務事業期間	昭和50年度～	評価日	令和6年6月1日	
個別計画 根拠法令・条例等	スポーツ基本法、学校体育施設の開放に関する規則、学校体育施設開放運営委員会要綱、学校運動場照明施設の設置及び管理に関する条例、施行規則・ふじみ野市立スポーツセンター条例、施行規則			
事務事業の内容	事務事業の目的	生涯スポーツの普及及びスポーツ活動の場の確保、スポーツ施設の整備・充実を図り、利便性のあるスポーツ施設として市民に提供する。管理運営については、指定管理者制度を活用する。		
	事務事業の経緯	平成23年度に指定管理者の公募を行い、平成24年度より、スポーツセンターをはじめとしたスポーツ施設の管理運営を指定管理者制度により実施している。 小中学校の体育施設の開放においては、学校行事に支障のない範囲で貸出している。		
	事務事業の概要	平成24年度から指定管理者制度により(運動公園等含む)管理を移行し現在に至る。 毎月1回モニタリングを行い施設管理及び事業実施状況の点検等を行っている。 聖路加テニスコート、ゲートボール場等は、定期的に巡回を行っている。 学校体育施設を学校教育に支障のない範囲で市民に開放。毎月1回、翌月分の利用を各学校ごとに設置している学校体育施設開放運営委員会で学校行事や他団体活動が重ならないよう調整会議を行っている。		
	令和5年度の主な取組	①駒林体育館改修 駒林体育館は、老朽化が進んでおり、令和6年度に改修等工事を行う予定のため、令和5年度は体育館改修工事設計業務を実施した。 ②学校体育施設開放運営事業 学校体育施設開放において、令和5年5月から有料で体育館空調設備の利用を開始した。 ③指定管理者 安全・安心にスポーツができる環境を整備し、また、各種自主事業を企画運営し、市民が気軽にスポーツに親しみ健康づくりに取り組むことができる機会を提供した。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.80	0.90	1.70
		人件費	6,372	7,131	13,470
	再任用職員	従事人数(人)	0.80	0.80	0.00
		人件費	4,217	4,152	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
	人件費計	10,589	11,283	13,470	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	8,396	4,262	4,718	
	委託料	49,129	53,765	79,580	
	使用料及び賃借料	0	0	511	
	工事請負費	2,145	0	96,448	
	負担金、補助及び交付金	10	10	10	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	911	191	4,002		
	支出合計	71,180	69,511	198,739	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	2,000	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	1,212	1,012	1,124
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	2,600	89,900
		基金	0	8,411	28,852
		その他	0	60	60
	一般財源	67,968	57,428	78,803	
	市民1人あたりの負担コスト(単位：円)	596	503	671	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	スポーツ施設の利用率		
	説明	目標値：第2期ふじみ野市スポーツ推進計画に基づく 実績値：総合体育館、上野台体育館（トレーニング室除く）、駒林体育館、弓道場、テニスコート、多目的グラウンドの6施設分の平均利用率		
成果	単位	%		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	54.40	59.00	59.50
	実績値	55.58	55.40	
指標 2	指標名	スポーツ施設利用者の満足度		
	説明	目標値：令和5年度の目標(80%)に合わせ満足度を段階的に高める。(将来構想策定時に設定) 実績値：指定管理者が実施しているアンケート調査で満足と答えた人の割合。(回答数：277人) 総合体育館、上野台体育館(トレーニング室除く)、駒林体育館、弓道場、テニスコート、多目的グラウンドの利用者に対してアンケートを実施。(満足、やや満足を合わせると令和3年度実績は82.6%)		
成果	単位	%		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	78.00	80.00	80.00
	実績値	52.60	55.70	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>①駒林体育館改修工事について 令和5年度は駒林体育館改修工事設計業務を実施し、令和6年度の改修工事の具体的な実施内容等を取りまとめた。</p> <p>②スポーツセンターへの空調設備設置について 昨今の気温上昇等に伴う暑さに対応するため、スポーツセンター各施設に空調設備を導入する方針を決定し、上野台体育館、駒林体育館へ令和7年の初夏までに空調設備を設置するため、空調設備設置工事設計を令和6年1月から開始し、また、総合体育館への空調設備導入検討業務も開始した。</p> <p>③学校体育施設開放運営事業について 小中学校の体育施設の開放においては、学校行事に支障のない範囲で貸出しを行うため、毎月1回、翌月分の利用を各学校ごとに設置されている学校体育施設開放運営委員会で、学校行事や他団体活動が重ならないよう調整会議を行い、地域のスポーツ活動の場を提供した。 また、令和5年度から小中学校の体育施設の開放において、空調設備利用券を販売し、有料で学校体育館の空調施設の利用を開始した。令和6年3月現在、約2,100時間分の空調設備利用券を販売し、学校体育施設開放利用者から好評を得ている。</p> <p>④指定管理者について 安全・安心なスポーツ環境の整備に取り組むと共に、自主事業でキッズダンス、バドミントン教室、スキルアップ教室(かけっこ教室)、健康体操、シニア元気塾等、幅広い年齢層に対応する多くの事業を企画運営し、市民が気軽にスポーツに親しむ機会に寄与している。また、市やスポーツ協会と連携し、ロードレース大会、元気・健康フェア、さいたまブロンコスバスケットボール教室等、様々な事業を展開し、第2期市スポーツ推進計画のテーマである「スポーツに出会い 楽しみ つながるまち ふじみ野」へ寄与した。</p>
--------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
拡充	駒林体育館は、令和6年度に照明灯LED化、アリーナ壁、トイレ床、玄関、外階段の改修工事及び備品の入替等を実施する。さらに昨今の気温の上昇を受けて、安全にスポーツができる環境づくりのために、駒林体育館、上野台体育館は、令和5年度から6年度にかけて、空調設備設置工事設計を実施し、令和7年度の初夏までに空調設備設置工事を実施する予定である。
中長期的方向性	また、総合体育館は、空調設備導入調査業務を実施し、上野台体育館、駒林体育館に続いての空調設備設置に向けて進めていく。
拡充	誰もが継続してスポーツに親しめるよう、市を始め、指定管理者等による多種多様な自主事業を実施する。また、学校体育施設開放運営事業も継続して実施し、市民がスポーツに親しむ場所を提供するように努めていく。